

太平洋戦争を理解するための 22 のキーワード

キーワード	発生した年	概略	歴史上の意味
富国強兵政策	1868～	欧米の大国が軍事力と近代産業を背景に経済的な利権をもとめ、アジア、アフリカ地域の植民地化を進めていたことに対抗して、欧米に負けないように近代産業の育成や徴兵制などによる軍隊の近代化を進めた。	欧米の大国を追って
日清戦争	1894	朝鮮半島の利権をめぐる清と対立	戦争を通じて大国への道へ。軍の発言力が次第に強まった。
日露戦争	1904	中国と朝鮮半島の利権をめぐるロシアと対立	
第一次世界大戦	1914	ドイツ、オーストリア、イタリアとイギリス、フランス、ドイツが海外市場やバルカン半島をめぐる対立。日本は日英同盟を理由にドイツに宣戦。	
満州侵略	1931	満州鉄道の線路を日本軍が爆破し、それを中国側がやったこととして中国に攻撃を開始し、満州を占領し、満州国をつくった。	軍部の独走と満州での利権の確保
国際連盟離脱	1933	中国から満州侵略の訴えを受けた国際連盟は満州国を認めなかった。これを不満として日本は国際連盟を脱退した	日本の国際的な孤立が深まった。
5.15 事件	1932	日本海軍将校らが犬飼毅首相を殺害した	軍部が政治に深く介入し、軍や政府を批判する活動の抑圧
2.26 事件	1936	陸軍の部隊が高橋是清大蔵大臣らを殺傷した	
日中戦争	1937	北京郊外で日中両軍が衝突し、日中戦争がはじまった。日本軍は戦線を広げ、上海や南京などを占領していった。戦争は長期戦になり、中国民衆の日本軍への抵抗は強まった。日本の国家予算の中で軍事費の割合が 7 割くらいになり、資金や物資は不足し、国民は軍需工場で働かされ、生活必需品は配給制になっていった。	戦争の長期化と国家総動員体制への道
第 2 次世界大戦	1939	ナチスのヒトラーひきいるドイツ軍がポーランドに侵攻し、これに対してイギリス、フランスがドイツに対して宣戦布告して、第二次世界大戦がはじまった。	領土と利権をめぐる世界の分割戦争へ
三国同盟	1940	日本は国際連盟を脱退して孤立していたドイツ、及び欧州で孤立していたイタリアと同盟を結んで米英に対抗しようとした。	イギリス、フランス、続いてアメリカ、ソ連との対決を強めた。
フランス領ベトナム占領	1940-41 年	日本軍は中国での泥沼状態を打開するため、アメリカ、イギリスなどによる中国援助の補給路を断ちきり、あわせて石油、ゴムなどの物資をえるため、1940～1941 年にはフランス領ベトナム北部、南部を続けて占領した。これに対してアメリカは	中国・東南アジアにおける日米間の緊張が高まった。

		石油、鉄などの日本への輸出を禁止し、中国、東南アジアからの日本軍の撤兵を求めた。	
真珠湾攻撃	1941年12月8日	日本陸軍はマレー半島に上陸し、海軍はハワイの真珠湾にあるアメリカ軍基地を攻撃し、太平洋戦争が始まった。1942年には、フィリピン、シンガポール、ビルマ、ジャワ島などを次々と占領した。	アメリカへの宣戦と太平洋地域の利権をめぐる戦い
ミッドウェー海戦	1942年	日本は主力空母4隻や訓練された船員、パイロットを多く失い、戦況は不利になっていった。	敗戦への転換点
ドイツ・イタリアの降伏	1942 - 1945	ヨーロッパ戦線でも1942年の後半から連合国軍の反撃が強まり、1943年、ソ連軍はスターリングラードでドイツ軍を破り、米英軍も北アフリカでドイツ軍を破り、続いてイタリアを降伏させていった。1945年5月にはドイツが降伏した。	欧州戦線でのドイツ、イタリアの降伏
拠点の喪失	1943-44年	1943年にはガダルカナル島、アリューシャン列島のアッツ島、ギルバート諸島、1944年にはサイパン島を含むマリアナ諸島で敗北。	太平洋地域での拠点が失われ、逆に米軍の拠点となった。
学徒出陣	1943年	それまでは徴兵が免除されていた大学生、専門学校生も兵士が不足したため、軍隊に召集されるようになった。この「学徒出陣」組からも多くの特攻攻撃に加わる人たちが生まれた。出水基地では、アメリカ軍の爆撃から飛行機をまもる掩体壕をつくるために地元の中学生も動員された。	人材・資材の不足が著しく、すべての国民が戦争に動員された。
学童疎開	1944～	アメリカの沖縄上陸から日本本土が爆撃の脅威にさらされるようになり、戦禍を避けるため、小学生たちを爆撃に遭う危険の少ない地方に避難させた。	軍事施設、生産拠点の破壊と都市部への爆撃の激化
レイテ沖海戦	1944年10月	フィリピン近海レイテ沖の海戦。日本海軍は大きな損害を受け、この海戦で特攻作戦が採用された。	日本の戦闘能力がアメリカより大きく劣る事が明らかになった。
沖縄上陸	1945年4月	アメリカ軍による沖縄への上陸が始まる中、出水基地からも特攻攻撃が行われ、260名ほどの命が失われた。また基地の施設や周辺の民家もアメリカ軍の爆撃によって大きな損害を受けた。	物資も底をつき、日本は戦争を続けていく能力を失っていった
敗戦へ	1945年6月～	6月には沖縄が占領され、8月には広島と長崎に原爆が投下された。	壊滅的な打撃を受ける
ポツダム宣言	8月15日	連合国のポツダム宣言を受け入れ、降伏した。	戦争への反省と平和国家への出発